

# Bゼミ

2020/06/05 水田日和



序章

前史

第I部 コニーアイランドー空想世界のテクノロジー

第II部 ユートピアの二重の生活ー摩天楼

第III部 完璧さはどこまで完璧でありうるかーロックフェラー・センターの創造

第IV部 用心シロ！ダリとルコルビジェがニューヨークを征服する

第V部 死シテノチ（ポストモルテム）

補遺 虚構としての結論

# 第II部 ユートピアの二重の生活－摩天楼

## 空のフロンティア

摩天楼は、アーバニズムにおける**3つの異なる発明**が単一のメカニズムに収束したものである。

### 1 世界の再創造

都市の特定の場所に際限なく処女地を作り出すためのユートピア的公理として仮定された摩天楼。建築は、芸術ではなく上空へと乱暴に突出させる作業となる。

- ・各フロア毎に異なる文化活動…分断されたフロア
- ・でたらめな形の建物、完璧な内部空間

### 2 タワーの付加

それ自体が世界でありうるというタワーの可能性。

- ・立方体的なビルディングにタワーをのせる処理によって、摩天楼は、タワーが蓄積してきた意味を獲得する。

### 3 ブロックまるごと

マンハッタンは、ブロックという陸の群島になる。

- ・管理は個別の敷地内にしか適応されない
- ・ブロックは互いに島のように孤立している

主な意味

国境(地方)、辺境、(西部が未開拓のころの開拓地と未開拓地の)境界地帯、西部辺境、フロンティア、最先端、新分野、未開拓の領域

**3つの建築的傾向はどれも独力では未来を切り開くことができない。**

「タワーは、敷地の上空拡大に意味を与え、敷地の上方拡大は、グランドレベルにおけるの展開を助け、ブロックの制服は、自分の島を独り占めうる占有者としてのタワーの孤立を保証する。」

## 第II部 ユートピアの二重の生活－摩天楼

### 空のフロンティア

マスが臨界量を超えると、建物の内部と外部の分離が起こり、これが自己モニュメント性の兆候をつくった。自己モニュメントとしての摩天楼を居住可能にするために、モニュメントとして永続しようとする要求と、「生という名の変化」に順応しようという要求がされる。

建築的ロボットミーは外部の世界と日常生活を遮断することで、摩天楼に錯乱を起こす。メトロポリスの外観を形成する彫刻的な建物と、メトロポリス文化の記憶や図像を技術によって再利用・改装・捏造する二つの異なる建築を生み出すことで、相反する自己モニュメントの要求を満たそうとした。

また、1916年のゾーニング法により、敷地に建つタワーの大きさが最大限となる「ブロックひとつ丸ごとを占める建物」を推奨している。巨大村落を構成する2028個の巨大な「ハウス」の集合としてのマンハッタンは、「家」が変容しても「村」という基本型が帯やか荒れることはない。全体として都市を計画する必要がなくなるため、都市そのものを無限に成長させてゆくことができる。

## 第II部 ユートピアの二重の生活－摩天楼

### 摩天楼理論家達

#### フェリス

建物の細部を曖昧に描くことで、建物の外形の無限ヴァリエーションを示した。建物が匿名性を帯びるマンハッタニズムでは、明確な意図を示そうとする試みはかえって曖昧なものとなる。フェリスのドローイングは過剰な表面装飾の下にある「誠実な」建物（建物の形）を解放した。

摩天楼によって、明確化を唱えながら一方で混乱を招くという二面性は、そこから導きだされる明確な結論を回避しているのだ。仮に理論があったとしても、摩天楼は理論に適応するべきではないのだ。

## 第II部 ユートピアの二重の生活－摩天楼

あるブロックが辿る様々な生涯

### **ウォルdorf＝アストリア・ホテル**

解体された原因は、ウォルdorf＝アストリア・ホテルが摩天楼ではなかったからである。マンハッタンのアーバニズムは、建築的な食人主義として、先駆者を呑み込み（解体し）、その精神を蓄積し、独自のやり方で記憶を保存する。ウォルdorf＝アストリア・ホテルは壊され、先人たちの精神は保存された。



### **エンパイア・ステート・ビル**

マンハッタニズムの最終的な顕現形態であり、潜在意識的マンハッタンのクライマックス。

## 第II部 ユートピアの二重の生活－摩天楼

### 決定的な不安定性

「ダウンタウン・アスレチック・クラブでは [...] 摩天楼は、人間間の望ましい交流形態の生産と強化のための機械となっている。」（礼讃 Per.5 P.192）

各階の「プログラム」の間を、建物の中の運動家が忙しく上下する。そして、フロア上で起こる予測不可能な活動が、運動家達自身の生命そのものをプランニングする。人間の肉体という自然に対して機械による連続的な干渉によって引き起こされた突然変異体は、次の世代を生産することはできない。ダウンタウン・クラブは、メトロポリスの真の都会人である独身者のための機械であり、洗面器ガール（高さへの希求とテクノロジーの昇華に対する抵抗）から逃れるようにして、上空へと昇っていく。

### 解釈

マンハッタン・グリッドは等しい価値で大都市を分割し、グリッドを群島と捉え、群島都市の原理を応用することで大都市を制御しようとした。そうして生まれたのが摩天楼である。ブロックごと上空へと突出させ、文化活動の異なるフロアを積層することで、摩天楼はそのものが都市性をもった存在になった。都市の中の都市、は群島の中の孤立した島といえる。また、摩天楼において、技術的サービスとして超＝自然は提供される。